



ビジネスという挑戦

令和6年12月8日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

グローバリズムにおける時代という変化は、ビジネスにおける新しい可能性を与えるものである。技術とシステムの進歩は、企業が新しい可能性を拡大させるものであり、それらは時代と未来における可能性なのである。

競争という現実には、優秀な人材が、その可能性への挑戦を抱くものであり、世界という舞台は必ずその自己現実を許容できるのである。

独創性と創造性は、時代を牽引する。これら進歩性は技術進歩を両輪として、ビジネスに可能性を与えるものである。

自己のオリジナリティは、新しい可能性である。自由経済という自由な経済の活動はその可能性を許容するのである。

世界のすべての地域における新しい未来の誕生は経済における未来の創造である。

GAFAM が小規模事業者から始まったことは今日の新しいトレンドを牽引する彼らにおける新しい創造的土壌とともに、ビジネスにおける可能性の証明なのである。

すべての世界における機関事業は、新しい進歩性における転換を行うものであり、これら変化のスピードは想像に優り大きいのである。

この変化という新しい未来が自由経済システムにおける現実なのである。それがビジネスが、新しい挑戦であることを与えるのである。

企業のソフトの進歩はその企業努力が与える現実である。それらが優れるため、それら人材における能力の要求は大きいのである。

それら新しいエリートたちにおける現実には、その魅力を変化とともに有するのである。

企業活動は投資ではない。それらは誠実な作業における可能性なのである。